

[RMAN] による
データベース全体のリストアとリカバリ
アーカイブ・ログ・モードにて運用している場合

1. RMAN 接続

```
rman target /
```

2. データベースのシャットダウン

```
RMAN> SHUTDOWN ;
```

3. データベースのマウント

```
RMAN> STARTUP mount ;
```

4. データベースのリストア

```
RMAN> RESTORE DATABASE ;
```

5. データベースのリカバリ

```
RMAN> RECOVER DATABASE { DELETE ARCHIVELOG }  
{ MAXSIZE 100M } ;
```

※ DELETE ARCHIVELOG :

リカバリで使用するためにリストアしたアーカイブ Redo ログは、処理終了後に自動で削除する

※ MAXSIZE 100M :

アーカイブ Redo ログをリストアするのに使えるディスク・エリアを、最大 100M までに制限設定
指定を超えたアーカイブ Redo ログのデータには、リカバリ適用後にディスク・エリアのリサイクル（再利用）で対応する
ただし、1 ファイルが最大エリア制限より大きい場合は、エラーが発生
この場合は、MAXSIZE を大きくして再実行のこと

6. データベースのオープン

```
RMAN> ALTER DATABASE open ;
```